R&Dフェーズ｜研究　**実用化時期**｜FY27-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#E19

#顧客体験(CX)#DX・AX(デジタル変革)#デジタルインクルージョン

触らずに質感を伝える視覚提示技術

遠隔地でも身近なデバイスで対象の質感を伝えます

技術課題・ゴール

遠隔地にある対象の質感を伝達する技術は未発達でした。例えばオンラインショッピングでは、商品の質感が体感できないため、お客様の不満や商品の返品に繋がっていました。本技術においてユーザーは、パソコンやスマホのカメラで撮影した手で画面中の対象を操作します。視覚質感知覚研究の知見に基づいて対象の視覚パラメータを制御し、ユーザに対象の質感を錯覚させます。



技術ポイント

要素技術

・NTTで研究を蓄積してきた視覚研究の成果を活用
・錯覚を利用した独自の知覚技術を提案

市中技術差異点

・パソコンやスマホを用いて、対象の柔らかさ・滑り感や粘り気を遠隔地に伝えられるようになった世界初の技術
・特殊な装置は必要とせず、PCやスマホなど身近なデバイスで体験可能

適用ビジネス/ユースケース

小売

オンラインショッピングにおいて、実物が無くともユーザに商品の質感を伝えることに使えます。

出展組織
NTT株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所

関連情報URL
https://group.ntt/jp/newsrelease/2026/05/12/260512a.html

お問い合わせ：人間情報研究部